



## 消費者の嗜好を採り入れた 種なしで品質の高い「巨峰」の生産技術



種なし「巨峰」の果実



種なし「巨峰」の平行整枝栽培の様子

（園芸研究所開発）

### 背景

種なしブドウは食べやすく、消費者に好まれます。そこで、人気の高い「巨峰」の種なし果実を栽培する技術を開発するとともに、種なしブドウの栽培に適した仕立て法の確立に取り組みました。

### 成果の内容

1970年代後半に、植物成長調整剤の1つであるジベレリンを利用した「巨峰」の無核化技術を体系化し、種なし「巨峰」の栽培を実用段階にまで引き上げました。

さらに、2000年には、すべての新梢が、主枝に対して直角に並ぶ平行整枝短梢せん定技術を確立し、従来のX型整枝からの樹形改造を可能にしました。管理作業が単純化・効率化され、せん定も容易になりました。

### 愛知県農業への貢献

県内では、「巨峰」の無核化技術により、全国にさきがけて産地化が進みました。また、省力的な平行整枝短梢せん定技術も広く導入されています。これらは、近年育成された「シャインマスカット」や「クイーンニーナ」の種なし栽培にも生かされています。

（園芸研究部）